

平成19年度第6回兵庫県入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成20年2月21日(木) 兵庫県職員会館203号室	
出席委員	根岸 哲 (甲南大学法科大学院教授) 西村 多嘉子(大阪商業大学総合経営学部教授) 西畑 彰夫 (公認会計士) 木村 治子 (弁護士) 土居 鹿男 ((財)兵庫地域政策研究機構評議員)	
議案	談合情報があった案件の審査 1 「谷八木川水系谷八木川 外 樋門取替工事 ほか12件」 2 「奥地保安林保全緊急対策事業」	欠席委員：なし
	質問・意見	回 答
委員からの質問・意見、 それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

別 紙

	質 問 ・ 意 見	回 答
1	<p>指名競争入札：東播磨県民局（加古川土木事務所）発注 「谷八木川水系谷八木川 外 樋門取替工事 ほか12件」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 談合情報があった後、どう対応したのか。 ・ 13件の水門工事のうち、ほとんどが95%以上の高落札率であり、入札情報が漏れていると推測されることはないか。 ・ 公正取引委員会や県警に談合情報を報告した後、どう対応したのか把握しているのか。 ・ 公正取引委員会は、独占禁止法の違反事実について、同法第45条に基づく報告がなされた場合、後の措置について、報告者に通知することになっているが、県警にも報告した以上は、結果を把握しておくべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 談合情報は12月26日の新聞報道によるもので、平成13～14年度に発注した鉄製水門工事の4件で談合が行われたというものである。 報道があった後、県としても、同年度に加古川土木事務所が発注を行った全ての水門工事（13件）に係る入札参加企業17社（廃業等の6社を除く）から事情聴取を行ったが、全社とも談合を否定した。 なお、談合情報及び事情聴取の結果は、公正取引委員会と県警に報告した。 ・ 指名企業は水門工事について積算能力が高く、積算単価も市場価格に基づき公表していることから、各企業とも予定価格に近い金額で入札している。 ・ 定期的な意見交換を行うよう努めたい。
2	<p>制限付き一般競争入札：西播磨県民局（上郡農林水産振興事務所）発注、「奥地保安林保全緊急対策事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 談合情報では、地域ごとにグループをつくっているとあるが、入札参加企業の所在地はどこか。 辞退者が多いが工事地区（佐用町）以外の企業か。 ・ 制限付き一般競争入札で、入札に参加できる企業の地域要件を広げることはいかないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全29社のうち、佐用町15社、上郡町9社、相生市4社、赤穂市1社である。辞退は、相生市と上郡町が各4社、佐用町3社とばらついている。 ・ これまでの審査からも地域要件の拡大について、ご意見をいただいております。来年度に向けて検討していきたい。